

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	22-4																																						
PDCA	主要事業名	市立保育園管理運営事業	部課名	子ども未来部 幼児保育課	担当 内線	山田	419																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 2 単位施策： 幼児教育・保育 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 299,939 千円																																												
	会計 一般会計 歳出科目： 03.02.04.02.01																																												
	事業概要等	事業概要： 家庭で保育ができない保護者に代わり保育を行うことに加え、通園する児童の心身の育成を行う。																																											
		事業目的： 保護者が仕事や病気などで家庭での十分な保育ができない場合に、保護者に代わって保育を行う。																																											
		事業内容： 市立保育園施設の維持管理及び保育の質の向上に努める。（市立認可保育園13園及び保育所型認定こども園2園）																																											
		問題点・課題等： 半田市子ども・子育て支援事業計画を基に民間保育所を含めた低年齢児の受入れ拡大等、保育サービスの拡充が必要である。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																											
	299,939 千円	保護者が仕事や病気などで家庭での十分な保育ができない場合に、児童福祉法第24条に基づき、保護者に代わって保育を行う必要があるため。																																											
	財源内訳	得られる成果																																											
	市費 37,448 千円	家庭で保育ができない保護者に代わり保育を行うことにより、通園する児童の心身の育成を行うことができる。																																											
	国費 713 千円	目標値や目指すべき状態																																											
	県費 4,605 千円	<table><tr><th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>単位</th></tr><tr><td rowspan="2">4月1日現在の待機児童数</td><td>実績値</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td><td>人</td></tr><tr><td>目標値</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>人</td></tr><tr><td rowspan="2">10月1日現在の待機児童数</td><td>実績値</td><td>0</td><td>16</td><td>—</td><td>人</td></tr><tr><td>目標値</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>人</td></tr><tr><td rowspan="2">その他</td><td>実績値</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	4月1日現在の待機児童数	実績値	0	0	—	人	目標値	0	0	0	人	10月1日現在の待機児童数	実績値	0	16	—	人	目標値	0	0	0	人	その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																								
4月1日現在の待機児童数	実績値	0	0	—	人																																								
	目標値	0	0	0	人																																								
10月1日現在の待機児童数	実績値	0	16	—	人																																								
	目標値	0	0	0	人																																								
その他	実績値																																												
	目標値																																												
257,173 千円																																													
D 実績値 得られた成果と	決算額	得られた成果																																											
	397,870 千円	保護者が仕事や病気などで家庭での十分な保育ができない場合に、保護者に代わって保育を行うことで、通園する児童が心身ともに健やかに育ち、豊かな人間性を持った子どもを育成する役割を担うことができた。																																											
		成果指標																																											
	4月1日現在の待機児童数	実績値	0		人																																								
		目標値	0		人																																								
	10月1日現在の待機児童数	実績値	5		人																																								
		目標値	0		人																																								
	C 課題の整理	事業の評価・課題	D 保育が必要な就学前児童に対し、施設の維持・管理等の環境整備に努め、円滑に保育・教育を実施することができた。しかし、昨年度に比べ人数は減少したものの、年度途中において待機児童が発生しているため、公立保育園の民営化による低年齢児の定員数の拡充を図り、待機児童の解消に努めていく必要がある。また、令和4年度途中からICTシステム「コドモン」を導入し、保護者及び保育士の負担軽減を図るとともに、使用済み紙おむつの園での処分、紙おむつのサブスクリプションを導入し、保育サービスの拡充に努めた。さらに、原油価格・物価高騰等に伴い給食材料費が高くなることによる給食の質の低下を防ぐため、賄材料費等の増額を行うことで、保護者の負担なく給食の質を維持することができた。																																										
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進 令和5年度に花園保育園を民営化し、低年齢児の定員拡充を図るとともに、令和7年度に民営化する高根保育園についても、待機児童解消のため低年齢児の定員拡充を行う。また、多様化する保育ニーズに対応するため、ICTシステム「コドモン」の運用拡充及びサブスクリプションメニューの拡充について努めていく。																																											
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																							
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない																																						
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある																																								
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある																																							

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用